

## 令和5年度第1回千曲市歴史的風致維持向上協議会会議録概要

- 開催日時 令和6年3月25日(月) 午後1時30分～午後2時50分
- 開催場所 千曲市役所3階 301C会議室
- 出席者 委員：10名 ※欠席者3名  
市：6名(副市長(途中退席)、都市計画課長、都市計画課計画係長、都市計画課計画係係員、歴史文化財センター所長、歴史文化財センター主幹)

### 1 開 会

都市計画課長

### 2 副市長あいさつ

あいさつ後、退席

### 3 千曲市歴史的風致維持向上協議会会長の互選について

井原委員を会長に互選

### 4 協議事項

#### (1) 千曲市歴史的風致維持向上計画の概要について

事務局より説明

[意見等なし]

#### (2) 令和5年度進捗評価(案)について

事務局より説明

[質疑応答]

委員(意見) ページ千曲市-6の看板だが、歴史的に由緒たしいものだったりするのか。また、材質はなにか。

事務局(回答) この敷地に戦前に在った建物の看板であり、建物自体も登録有形文化財になるようなものだったため、何か残しておかないということで、看板だけでも残していた。今回この建物を記憶するというので設置した。材質はモルタル及びタイルである。昭和16年ごろの建物である。当時の写真や説明の看板を横に設置している。

委員(意見) ページ千曲市-7の委託の成果は文書等できているか。

事務局(回答) 業務期間が3月31日までであるため、今月末に成果品は納品される。

委員(意見) ページ千曲市-15の「計画に記載している内容」に、「パンフ

- レットを作成し」とあるが、どのようなものか。
- 事務局（回答） このパンフレットは文化財保存地域計画に記載しているが、今年度はまだできていない。「計画に記載している内容」ということで計画期間内に実施する内容であり、今年度は説明板3基の改修を行っているということである。
- 委員（意見） ページ千曲市-17のシートによる応急処置だが、抜本的対策はいつやるのか。
- 事務局（回答） 抜本的対策である茅葺屋根の葺き替えは令和6年度に国庫補助を用いて実施する予算が付いたため、来年度に実施する。今年度は応急処置をしたということ。現在もこの状態である。
- 委員（意見） ページ千曲市-17の養成講座で、以前他の委員会で見聞が出たが、鉄道から姨捨の月を見る会を東京都内で募集したところ、非常にたくさんの応募があり、長野の飲食店が共同で料理を出したという新聞報道があった。このように効果が広がっているようだが、これと市の観光や歴史の部署は連携をしているのか。また協調体制というものはどのようになっているかという意見がその際出たが、事務局で知っていることはあるか。またこういう情報は観光の部局へもはいつているのか。
- 事務局（回答） 「月の都 千曲」ガイド養成講座は所管課が日本遺産推進室であり、ここが中心となって実施しているが、関係課である観光課、歴史文化財センター、農林課等で定期的に情報共有をする機会を設けている。市としての姨捨での取組としてはページ千曲市-9の展望駐車場の整備を中心に取り組んでいる。東京などの外部地域の情報については把握できていないのが現状である。
- 委員（意見） 観光局では把握していないのか。
- 委員（回答） していない。
- 委員（意見） 横浜の赤レンガなどでは市と業者などの連携はどのようにしているか。
- 委員（意見） 赤レンガは会社が運営しているので、積極的に宣伝している。市とも連携し、一緒に取り組んでいる。歴史やまちづくり、観光部局も入っている。千曲はすごくいいものがあるが観光にうまく結び付いていかない印象がある。
- 委員（意見） 観光課や観光局で連携してやっているのでは、全く共有ができていないということはないと思う。
- 委員（意見） 千曲市でもできるだけ横割りで情報発信をできるようにしていただきたい。
- 事務局（回答） 千曲市まちづくり推進会議にて観光課もいるので、この会議時に観光の情報発信について触れていきたい。

- 委員（意見） 情報の共有があっても情報発信をして使うぞというところが弱いと思うので、取り組んでもらいたい。
- 委員（意見） ページ千曲市-21で松田邸の開館について、市民の評判などは何かアンケート等で把握しているか。
- 事務局（回答） 松田邸の評判については来場者にアンケートをしており、今年度分については集計がまだできていないが、できしだい公表する予定。
- 委員（意見） 文化財をいかに利用するかということにつながるが、情報発信については掲載紙を見るとわかるが、発信している地域が地元だけである。観光客を増やすには広範囲に発信できるメディアに働きかける手もあると思う。
- 委員（意見） まとめのところで「千曲市の歴史や文化について幅広く発信できた」と評価しているが、これは市内だけのことを指しているのか、どの範囲まで広げようとしているのか、その辺はどのように考えているか。例えば松田邸の開館の情報は観光部局でどのように情報を発信したのか。
- 事務局（回答） 松田邸の開館については教育委員会で、市報及び市のHPに載せたり、歴史系の博物館に情報を送ったりして広報している。観光部局での取り組みについては把握できていない。
- 委員（意見） 進捗状況については計画に基づいた事業について、確認するものだと思う。計画の概要を見ると、計画の目的は歴史的風致を明らかにし、これを後世に継承することが目的になる。風致とは、市街地の建物と人々の営みのことであり、これを後世に継承することが目的としている計画である。計画に基づいて評価をするものであるので、どこまで発信するのかということがこの計画に書いてあるのかどうかだと思う。
- 委員（意見） 計画に基づく事業の評価については先ほど委員から了承をいただいた。今確認しているのは、「千曲市の歴史や文化について幅広く発信できた」の発信についてで、「市内だけでよいのか、それ以外には発信できていないのではないか。」という意見について、確認しているものである。
- 委員（意見） 発信についての評価を、どこまで広げるかについてだと思う。計画に基づいてどこまでできたか、計画を遂行するためにどこまで情報を発信したらいいかということと思うので、この感覚で評価したらいいのではと思った。
- 事務局（回答） 幅広く発信できたという評価については、例えば松田邸の開館については、担当課だけで情報発信をしている現状であるので、観光部局への共有ができてない部分があり、歴史まちづくり推進

会議の庁内会議で、まずは観光部局に情報を周知し、発信の仕方は観光部局で検討してもらえよう、これからしっかり取り組みたいと思う。

委員（意見） ページ千曲市-22 で、日付に令和が入っていない。ほかのシートには書いてあるので、記載してはどうか。

事務局（回答） 修正する。

[訂正箇所を事務局で修正したのち、国へ提出することで承認]

### (3) 令和6年度事業計画について

事務局より説明

[質疑応答]

委員（意見） 2 ページの頭人道（とうどのみち）とはどういう意味か、また頭人道の範囲はどこまであるのか。

事務局（回答） 頭人道は大頭祭の際に頭人が通る道という意味である。行きは松田家を出て裏通りを通り、斎の森まで行き、帰りは県道をとおり武水分神社までの道の通称である。

委員（意見） 頭人道は全体を美装化するのか。

事務局（回答） 理想としては全部やりたいが費用がかなりかかる。来年度については位置図の箇所をやる。ここは広場から松田邸へのエントランスであることや、頭人道でもあるため歴史的景観に合った美装化を行う。

委員（意見） こういう質問が出るということは市民へこの頭人道が知られていないということ。決まっている道であるので、情報発信をしてほしい。また 10 ページの登山道だが、これは今ある登山道である。近世、中世にあった登山道は把握、調査しているか。

事務局（回答） 調査を行っていない。

委員（意見） それと 12、13 ページの「歴史的風致の意識向上と情報発信に関する事業」と日本遺産と関連して、頭人道と同じことだが、夜に八幡から上る登山道は道が決まっていたはずなので、ぜひ調査をしてその成果を情報発信してほしい。

委員（意見） 5 ページの防災計画について、昨年度稲荷山の地区防災計画を作ったが、それとのすり合わせはどうなっているか。

事務局（回答） 稲荷山の地区防災計画は危機管理防災課から情報をもらっているので、整合性をとりながら重伝建としての防災計画を作成する。

- 委員（感想） 重伝建で拠点整備など事業がやっと動き出してきて、これから人が集まりとどまるようになればよいと感じた。
- 委員（意見） 4ページの交流拠点整備事業だが、予定地は市で所有しているのか。
- 事務局（回答） 駐車場検討地は市の用地である。交流拠点施設候補地は現在市有地であるが、買収に向けた交渉をしているところである。
- 委員（意見） この景観支障木伐採事業は私有地の木も伐採するのか。景勝地であるし、長楽寺の木の伐採をしている有志の方も高齢化しており、危険も伴うので、私有地であっても実施してくれるとありがたい。
- 事務局（回答） 来年度はどうか把握していないが、今年度については、私有地であっても所有者の了解を取ったうえで実施した。来年度も同様に実施していく。

[原案のとおり承認]

#### (4) 今後のスケジュールについて

事務局より説明

[意見等なし]

[原案のとおり承認]

## 5 その他

[事務局より第二期計画作成について説明]

- 事務局（説明） 現在の計画は令和7年度までの計画となっているため、第二期計画作成しようと考えている。第一期計画ではこの計画により交付金の対象となる松田家を中心として事業を進めてきたが、昨年度に博物館としてオープンし、一定の成果を得ることができた。今後はこの松田邸だけでなく、稲荷山の重伝建や川東地区でも歴史的風致の事業が見込まれることから第二期計画として区域を設定し作成していきたい。また意見聴取の際にはご協力いただきたい。

## 6 閉 会

都市計画課長